



「がん」と診断されたら…

# 病院選びで重視する

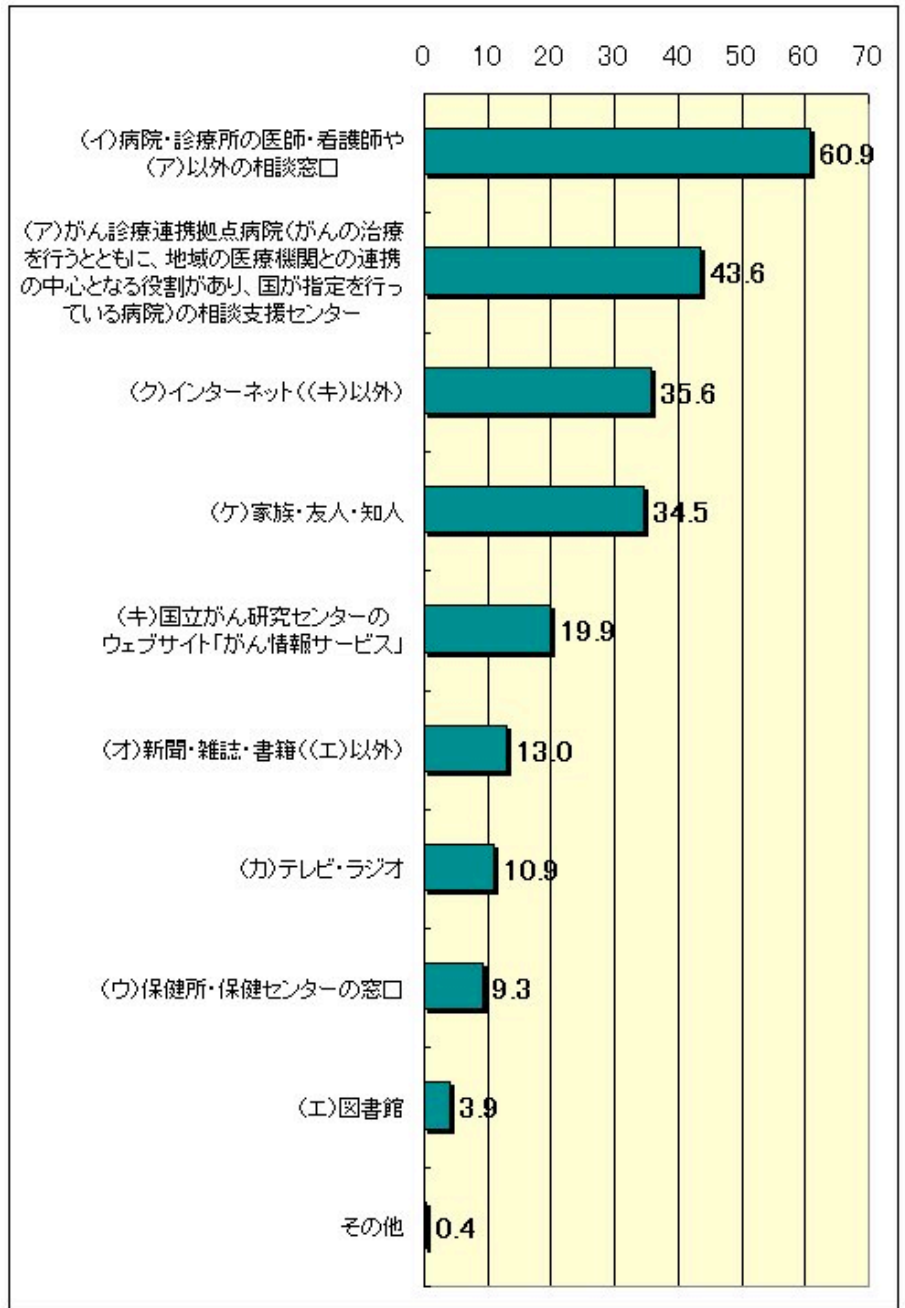
自分が「がん」と診断されたら、治療法や病院について、どこで情報を入手しようと思われるでしょうか？

内閣府の「がん対策に関する世論調査」によると、「(イ) 病院・診療所の医師・看護師や (ア) 以外の相談窓口」が60.9%と最も高く、以下、「(ア) がん診療連携拠点病院の相談支援センター」(43.6%)、「(ク) インターネット ((キ) 以外)」(35.6%)、「(ケ) 家族・友人・知人」(34.5%) などの順となっています。

また、治療を受ける病院を選ぶにあたり重視するのは、「専門的な治療を提供する機器や施設の有無」が65.5%と最も高く、以下、「医師や看護師の技術の優秀さ」(58.9%)、「自宅からの距離」(47.8%)、「受診にかかる経済的負担 (交通費や差額ベッド代)」(33.7%) などの順でした。

自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求める「セカンド・オピニオン」については、「知っている」が72.5% (「よく知っている」45.5% + 「言葉だけは知っている」27.0%) で前回 (平成21年9月調査) と比べると、その割合は57.2%から72.5%に大きく上昇しています。

がんの治療法及び病院等に関する情報源 (単位：%)



内閣府「がん対策に関する世論調査」(平成25年1月調査)